

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		成人保健指導事業				担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	29313
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち				事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり				根拠法令 個別計画等	健康増進法			
	小項目	1	健康づくりの推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		健康や疾病等に関する正しい知識の普及を図るため、個別相談、訪問指導等を行い、心身の機能低下の予防と健康の保持増進を目指す。									
目的 ※何のために		市民が自分の健康に関心を持ち、心身の機能低下の予防と健康の保持増進を図るため。									
対象 ※誰・何を対象に		市民									
手段 ※どのように		健康相談（電話、面接）、訪問指導等									
成果 ※何を求めるか		必要なかたが健康相談等を利用できる。また、家庭において、必要な保健指導を受けられる。									
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他（ 医師等 ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	4	健康増進費	成人保健指導事業		400,246
本事業の 主な業務		・健康相談							・		
		・訪問指導							・		
		・骨粗しょう症予防相談							・		
		・こころの健康相談							・		
		・乳がんセルフチェック教育							・		
		・							・		

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画					骨粗しょう症検診の受診票・問診を申込者に事前送付。要指導者の保健指導に活用。		
事業費	予算（現額）	878,000	943,000	986,000	979,000	1,025,000	
	決算額	546,453	653,280	485,124	400,246	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	271,000	250,000	320,000	275,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	275,453	403,280	210,124	80,246	750,000
人件費	従事職員数（人）	0.72	0.72	0.72	0.67	0.67	
	人件費相当試算※	5,666,082	5,767,319	5,920,014	5,679,653	5,901,688	
総事業費試算		6,212,535	6,420,599	6,405,138	6,079,899	6,926,688	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	健康相談等開催数	目標値	回						
		実績値		456.00	477.00	318.00	375.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度ごとに実施する事業を見直すため目標設定なし / 教育相談実施回数（実績）						
	実績値の算出式								
成果指標 1	年間訪問指導延人数	目標値	人						
		実績値		24.00	17.00	3.00	5.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要があった場合に訪問するため目標設定なし / 年間成人訪問指導延人数（実績）						
	実績値の算出式								
成果指標 2	健康相談等延人数	目標値	人						
		実績値		1,278.00	1,325.00	1,037.00	1,240.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度ごとに実施する事業を見直すため目標設定なし / 教育相談延人数（実績）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度の実績から目標を設定						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	目標値は設定していないが、健康相談等は予定通り実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	年間訪問回数は、継続的な訪問を必要とするへの訪問が少なかったことから減少しているが、訪問による支援が必要と思われるかたへの訪問は、予定通り実施することができた。 健康相談等延べ人数は、昨年度と事業内容に大きな違いはないが、骨粗しょう症予防相談（骨粗しょう症検診要指導者）の人数が多かったため、増加している。
			評価者 第一係長 呉 明香 第二係長 小井土 和美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	相談者等の情報はデータ管理し、継続支援、事業の評価・検討に活用することができている。
			評価者 第一係長 呉 明香 第二係長 小井土 和美